

【コリア NGO センター連続セミナー】

# 2020年の今、韓国は

## ～新しい時代の相互理解のために～

新型コロナ禍の拡大で世界的な規模でこれからの社会のあり方が問われています。そうしたなかで東アジアでも冷戦の終結と平和の実現、緊張高まる日韓関係をどう考えるか、そして日韓市民社会の未来に向けた課題をどう見るか、みなさんとともに考えるオンライン連続セミナーを開催します。ぜひ関心のある方はご参加ください。

### 【プログラム】

● 第1回 9月23日(水) 19:00～21:00

これからの日韓関係の展望 ～東アジア、南北関係、日韓市民社会をキーワードに～

＜講師＞ 李 泳 采 (恵泉女学園大学 教授)



● 第2回 10月28日(水) 19:00～21:00

韓国の過去清算運動の現住所 ～強制動員・強制労働、日本軍「慰安婦」問題への視点～

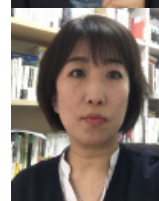
＜講師＞ 金 英 丸 (民族問題研究所 対外協力室長)



● 第3回 11月25日(水) 19:00～21:00

韓国での在日コリアン、移民の現状と処遇 ～ナショナリズムと移民、多民族多文化共生の視点から～

＜講師＞ 趙 慶 喜 (聖公会大学東アジア研究所 助教授)



● 第4回 12月23日(水) 19:00～21:00

激動する東アジアと文在寅政権を見る視点 ～在日コリアンジャーナリストが語る韓国政治～

＜講師＞ 徐 台 教 (ジャーナリスト)



● 第5回 1月20日(水) 19:00～21:00

韓国での新しい時代の人権運動 ～フェミニズム、レイシズム。新たな視点で問われる人権運動～

＜講師＞ 鄭 昭 延 (弁護士・小説家)



● 第6回 2月24日(水) 19:00～21:00

新たな時代と在日コリアンとしてめざすもの ～コロナの時代と協働、連帯、共生～

＜講師＞ 郭 辰 雄 (コリアNGOセンター 代表理事)



【参加費】 無 料 (ただしカンパを募っております。ご支援いただける方はオンライン決済も可能ですので、コリアNGOセンターのホームページからお願いいたします。)

【参加方法】 定 員 100名 (基本、先着順。ただし会員の方を優先する場合があります)

右のQRコードで Google form から登録してください。メールで zoom のアクセス URL をお送りします。(Google form : <https://forms.gle/jGJ4x3X2ku6Pvzxm9>)

※ 各セミナーのお申込期間は開催月の1日から開催日の3日前までになります。

参加を希望される方はそのつど申請をお願いします。

【問い合わせ】 コリアNGOセンター

TEL 06-6711-7601 E-mail [event@korea-ngo.org](mailto:event@korea-ngo.org) URL <http://korea-ngo.org>



## 【講師プロフィール】

### ● イ ヨンチェ 李 泳 采さん

韓国生まれ。恵泉女学園大学教員。光州5・18財団発行の「アジアジャーナル」海外編集委員。

著書に「韓流が伝える現代韓国」（梨の木舎／2010）、「IRISでわかる朝鮮半島の危機」（朝日新聞社／2010）、「アングリーヤングボーターズ 韓国 若者たちの戦略的選択」（梨の木舎／2016）、「いま、朝鮮半島は何を問いかけるのか；民衆の平和と市民の役割・責任」（共著／彩流社／2019）

### ● キム ヨンファン 金 英 丸さん

民族問題研究所対外協力室長。

1997年、北海道朱鞠内で開かれた強制連行・強制労働犠牲者の遺骨発掘作業（東アジア共同ワークショップ）に参加。2002年から2006年に高知県の「平和資料館・草の家」で日本の平和運動を学びながら活動。2014年4月からは、植民地時代に日本帝国主義に協力した韓国の「親日派」に関する事典である「親日人名辞典」を発刊した「民族問題研究所」で靖国問題、強制動員問題など、日本の過去清算、日韓市民連帯を主なテーマとして活動。東アジアの人々が国家と民族の壁を乗り越え、平和を実現するために連帯することをめざして生きている。

### ● チョ ギョンフィ 趙 慶 喜さん

聖公会大学東アジア研究所助教授。歴史社会学、植民地研究、マイノリティ研究。

主な共編著に『主権の野蛮：密航・収容所・在日朝鮮人』（ハンウル、2017）、『「私」を証明する：東アジアにおける国籍・旅券・登録』（ハンウル／2017）、共訳書に金東椿『朝鮮戦争の社会史：避難・占領・虐殺』（平凡社／2008）、白永瑞『共生への道と核心現場：実践課題としての東アジア』（法政大学出版局／2016）、主な論文に『「朝鮮人死刑囚」をめぐる専有の構図：小松川事件と日本／「朝鮮」（『戦後』の誕生：戦後日本と朝鮮の境界』（新泉社／2017）、「裏切られた多文化主義：韓国における難民嫌悪をめぐる小考」（『現代思想』2018. 8）など。

### ● ソ テギョ 徐 台 教さん

群馬県生まれの在日コリアン3世。韓国・高麗大学東洋史学科卒。

1999年から延べ16年以上ソウルに住みながら、人権NGO代表や日本メディアの記者として朝鮮半島問題に関わる。2015年、韓国に「永住帰国」と同時に独立。2016年10月から半年以上「ろうそくデモ」と朴槿恵大統領弾劾に伴う大統領選挙を密着取材。その過程をまとめた「韓国大統領選2017」が多くのアクセスを集める。2017年5月からは韓国政治、南北関係を扱う「コリアン・ポリティクス」を創刊。2020年2月に朝鮮半島と日本の社会問題を解決するメディア「ニュースタンス」へとリニューアル。ソウル外国人特派員協会(SFCC)正会員。

### ● チョン ソヨン 鄭 昭 延さん

弁護士、小説家。

小説集「となりのヨンヒさん」（集英社／2019）などを出版。

「民主社会のための弁護士会」労働委員会副委員長として活動している。

### ● カク チヌン 郭 辰 雄さん

在日コリアン3世。コリアNGOセンター代表理事。その他、ウトロ平和祈念館建設を推進する一般財団法人ウトロ民間基金財団理事、外国人入籍法連絡会運営委員、大阪での住民投票の外国人参加を求める市民キャンペーン「みんなで住民投票！」の呼びかけ人など。

コリアNGOセンターは、「人権」「平和」「共生」「自立した市民」という理念のもと、在日コリアンを中心にして設立された特定非営利活動法人です。コリアNGOセンターは、民族教育、在日外国人の人権保障、共生社会実現に向けた教育・啓発、韓日市民・NGOの交流・協力、朝鮮半島の平和統一と東アジア共同体の形成など幅広い課題に取り組んでいます。